

スタートアップ育成プログラム「J-Startup」

支援策パンフレット



J-Startup

■ 広報支援	・ プレスリリース告知、ピッチ機会提供等	・・・ P3
■ 海外展開支援	・ 海外イベント・展示会の出展支援	・・・ P4
	・ グローバル・アクセラレーション・ハブ	・・・ P5
■ 国内展開支援	・ 国内イベント・展示会出展支援	・・・ P6
■ 調達支援	・ 入札機会の拡大	・・・ P7
■ 各種支援制度の 審査時における優遇	・ 各種支援制度の審査時における優遇	・・・ P8
	・ 研究開発型スタートアップへの助成	・・・ P9
■ 日本政策金融公庫における J-Startup向け融資制度		・・・ P10
■ サポーター企業支援例		・・・ P11
■ 主要スタートアップ政策		・・・ P15

政府支援策の紹介

Facebookでのプレスリリース投稿や「J-Startup Hour」での登壇など、PRの場を提供しています。

J-Startupロゴの活用

J-Startup企業については
名刺や企業紹介資料等にて
J-Startupのロゴを活用可能！



SNSでの発信サポート

J-Startup事務局の
Facebookページにて
プレスリリースの発信が可能！
※5営業日前にご連絡ください。



J-Startup Hour

- Venture Café Tokyoと共催で、
毎週木曜日にJ-Startup関連イベントを開催
<https://venturecafetokyo.org/programs/thursday-gathering/>
- ・会場は東京・虎ノ門のCIC Tokyo（オンライン有）
 - ・参加者はJ-Startup企業やサポーター企業等
 - ・企画は事務局やサポーター企業が中心に実施中
 - ・J-Startup企業からの持込企画も歓迎！

※枠に限りがあります。1か月半前にはご連絡ください。



海外展開支援（１）グローバル・アクセラレーション・ハブ（GAH）

グローバルな成長を目指す日本のスタートアップを対象とした個別支援プログラム。
世界のスタートアップエコシステム30カ所にあるハブにて、現地の有力アクセラレータや海外駐在員がサポート。
ブリーフィング、メンタリング、マッチング等を**無料で提供**。

支援サービス内容

- ・ 現地ブリーフィングサービス
- ・ メンタリング（事業機会・資金調達等）
- ・ 現地パートナー候補・VC等の紹介

※場合によっては、提携先アクセラレータ等の判断により、現地パートナー候補・VC等のご紹介をお断りさせていただく場合がございます。

- ・ コワーキングスペースの利用

J-Startup企業であれば、以下優遇があります。

- メンタリング時間の上限なし
（基本上限1社・1拠点10時間まで。）

GAH 30拠点



事業戦略立案等に関するメンタリング



現地企業・VC等との面談アポイントメント取得等



コワーキングスペース利用



現地ブリーフィング

- ・ メンターとの1-on-1メンタリング
- ・ 27都市、50+ ビジネスパートナー
- ・ 500+ 著名なメンタープール（有力アクセラレータやVCなど）

- ・ 現地投資家の紹介
- ・ 顧客候補先とのビジネスマッチング

- ・ 3 か月コワーキングスペース利用
- ※一部拠点では利用不可

- ・ エコシステムブリーフィング
- ・ ビザ取得に関するサポート
- ・ 法務・税務相談など



海外展開支援（２）J-StarXなど各種プログラム

海外トップクラスのアクセラレーターによるメンタリングなどを通じて、グローバル展開に向けた高い視点とコネクションの獲得を目指すプログラム。J-Startup企業は、審査の際に加点等を受けることができます。
※ただし、各プログラムの目的、ステージ、業種等の条件によります。

支援サービス内容 ※プログラムによって異なります

- ・ 専門家からの講義
- ・ 事業戦略策定のメンタリング
- ・ ピッチブラッシュアップ
- ・ コネクション形成サポート
- ・ 現地市場視察
- ・ デモデイなどを通じた広報

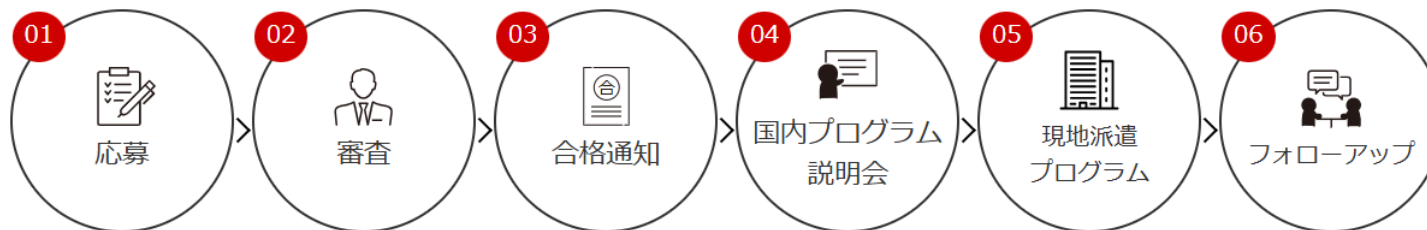
など

※プログラム参加費は無料ですが、渡航費、現地宿泊費、交通費などは自己負担となります。詳しくは各プログラムの募集要項をご覧ください。



プログラムの流れ（予定）

以下3つのレベルの中でそれぞれ産業や目的に合せたコースを用意。
各コースの詳細は募集開始時にご案内します。



海外展開支援（3）海外イベント・展示会の出展支援

世界各国から スタートアップ向けイベント・展示会への出展をJETROが支援。
初めての海外イベントでも準備からフルサポートし、出展機会の提供、商談機会の提供、メディア向けPR機会の提供等を実施します。J-Startup企業は、**審査の際に加点等を受ける**ことができます。

支援サービス内容 ※イベントによって異なります

- ・デモブーススペース費
- ・基本装飾・施工費
- ・基本備品レンタル費
- ・イベント参加チケット
- ・イベントでのピッチ機会提供
- ・事前ワークショップ・英語ピッチトレーニング
- ・現地の企業や投資家とのマッチング など

※上記に含まれない主な費用（=自己負担）

- ・渡航費、現地宿泊費、交通費
- ・基本装飾に含まれない施工費、自社展示物、配布物、PR素材
- ・展示物等の輸送費、許認可等取得費用 など



2025年度 主な出展支援イベント（予定）

VIVA MAY 22-25
2024 PARIS
TECHNOLOGY

25年6月@パリ



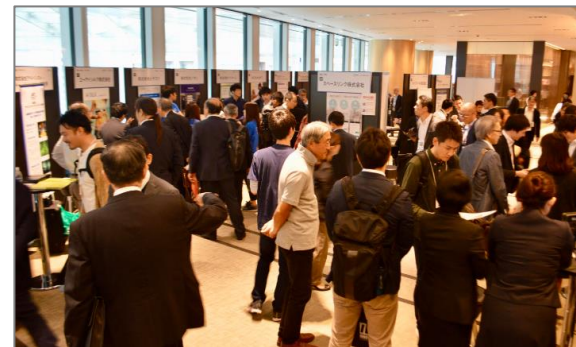
26年1月@ラスベガス

国内イベント等への出展支援

出展機会の提供、商談マッチング、メディア向けPR機会の提供等を実施。
J-Startup企業は、**優先して出展およびピッチへの参加**が可能です。

支援サービス内容

- 各展示会への優先出展枠をご用意します。
※原則、参加費、パネルなどの造作費、交通費などの出展にかかる費用は自己負担となります。
- ピッチイベントへの登壇
各種ピッチイベントへの登壇を支援します。
※御希望にそえない可能性もございます。



政府調達における入札機会の拡大

J-Startup企業は入札参加資格の等級に関わらず、**すべての政府調達にて入札が可能**です。

従来の 入札資格

政府の一般競争入札に参加する場合、
資本金や事業経験などのポイントで評価された資格（等級）が
案件ごとに定められており、それを満たしていないと入札ができない。

J-Startup 選定企業 の場合

J-Startup企業については、必要な等級を満たしていない場合でも、
霞が関のすべての政府調達案件に入札が可能（※）。
（≡取得している資格がDランクでもあ、Aランクの入札に参加可能）

※入札参加資格（全省庁統一資格）を取得済であることが前提。資格の取得方法や詳細については、[政府電子調達のwebページ](#)をご参照ください。

各種支援制度の優遇措置（１）対象制度等一覧

以下の制度等において、J-Startup企業は審査の際に加点等を受けることができます。

	対象制度	制度概要	対象者
1	<補助金> 成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業） ※旧サポイン事業	中小企業等が産学官連携で行う高度なものづくり基盤技術及びサービスモデルの研究開発等に対する補助金	中小企業者を含む共同体
2	<補助金> ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（旧JAPANブランド補助金）	中小企業等が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行い、生産性を向上させるための設備投資等を支援する補助金	海外展開を見据えた中小企業
3	<補助金> J-Partnership 製品・サービス開発等支援事業補助金（旧飛び出せJapan!）	中堅・中小企業のアフリカ等の新興国への進出を支援する補助金	新興国の課題解決・海外展開に取り組む企業
6	<知財戦略支援> IPAS	創業期のスタートアップに対して、知財専門家と、ビジネス専門家を含む知財メンタリングチームによる知財戦略構築の支援を行う	知財をベースとした事業拡大に意欲のある、未上場のスタートアップ
7	<競争力強化> 高度人材ポイント制	高度外国人材の受入れを促進するため、高度外国人材に対しポイント制を活用した出入国在留管理上の優遇措置を講ずる制度	海外の優秀な人材獲得を目指す企業

※No.1～3、5～7は審査時の加点、No.4は融資要件の1つをパスすることができます。

各種支援制度の優遇措置（２）研究開発型スタートアップ向け

NEDOが管轄する、ディープテック・スタートアップの実用化研究開発フェーズ、量産化実証フェーズを支援する制度（DTSU：ディープテック・スタートアップ支援事業、GX：GX分野のディープテック・スタートアップに対する実用化研究開発・量産化実証支援事業）につき、J-Startup企業が応募をした際は、**一定の優遇措置**を受けることができます。

	STSフェーズ 実用化研究開発（前期）	PCAフェーズ 実用化研究開発（後期）	DMPフェーズ 量産化実証
支援対象	要素技術の研究開発や試作品の開発等に加え、事業化に向けた技術開発の方向性を決めるための事業化可能性調査の実施等	試作品の開発や初期の生産技術開発等に加え、主要市場獲得に向けた事業化可能性調査の実施等	量産技術の確立・実証に係る研究開発やそのために必要な生産設備・検査設備等の設計・製作・購入・導入・運用等を通じ、商用化に至るために必要な量産化実証の実施
・ 助成率 ・ 助成金額 ・ 事業期間	・ 2/3以下 ・ 3億円もしくは5億円 ・ 1.5～2年程度 （同一フェーズ内で最長4年）	・ 2/3以下 ・ 5億円もしくは10億円 ・ 1.5～2年程度 （同一フェーズ内で最長4年）	・ 2/3以下もしくは1/2以下 ・ 25億円 ・ 1.5～2年程度 （同一フェーズ内で最長4年）

※詳細はNEDOのHP等をご参照ください。

日本政策金融公庫におけるJ-Startup向け融資制度



■ スタートアップ支援資金

※詳細：<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/startup.html>

【融資対象】

- ・ 事業計画書を策定し、事業の成長を図る方であって
- ・ 次のいずれかに該当すること

A) JVCAの会員等又は中小機構若しくはJICが出資する投資事業有限責任組合から出資を受けている方

B) J-Startup又はJ-Startup地域版に選定された方

【融資条件】

- ・ 融資限度額：社債・新株予約権貸付と合わせ、20億円
- ・ 利率：特別利率②（上記B)に該当する方は、一定の要件を満たす場合に限り）
- ・ 返済期間：設備資金・運転資金20年以内
- ・ 据置期間：10年以内
- ・ 担保：設定の有無、種類については、相談の上決定。
- ・ 保証人：無保証人

対象ステージ：ミドル後半～レイター

■ 新規開業・スタートアップ支援資金（J-Startup向け） https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/01_sinkikaigyoun_m.html

※詳細：

【融資対象】

- ・ 新たに事業を始める方または事業開始後おおむね7年以内の方であって
- ・ 次のいずれかに該当すること

A) JVCAの会員等又は中小機構若しくはJICが出資する投資事業有限責任組合から出資を受けている方

B) J-Startup又はJ-Startup地域版に選定された方

【融資条件】

- ・ 利率：特別利率②（上記B)に該当する方は、一定の要件を満たす場合に限り）

■ 新事業活動促進資金（J-Startup向け）

※詳細：https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/04_sjakushin_m.html

【貸付対象】

- ・ J-Startup又はJ-Startup地域版に選定された方

【融資条件】

- ・ 利率：特別利率②（一定の要件を満たす場合に限り）

対象ステージ：シード～ミドル前半

サポーター企業支援例の紹介

J-Startupプログラムでは、民間企業が「J-Startup Supporters」として経営支援、実証サポート、顧客ネットワークの紹介など様々な支援メニューを提供しています。

■ 支援メニュー例

PR TIMES

専用フォームより登録後申込後6か月間は
毎月1回無料で投稿可能な特別プランを用意
※申し込みは[こちら](#)から

三菱UFJ信託銀行

「IPO倶楽部」へ無料ご招待。
サイト上から株式実務上必要な手続や書類
様式のダウンロードが可能。

EY新日本有限責任監査法人

Eラーニングの3か月間無償視聴IDを提供
プログラムの例）・簿記会計入門
・無形資産価値評価
・基礎から学ぶ資本政策

日商保

以下のサービスを特別価格でご提供。
敷金フリーオフィス（敷金0円）
敷金減額サービス
変換サービス

選定時にご登録いただいたメールアドレス宛に、
J-Startup企業向けのスタートアップ支援策など最新情報をお届けしています。

重要な連絡も含まれますので、J-Startup事務局への登録連絡先は、
常に最新となるようにお気を付けください。

登録連絡先の変更を希望される場合には、以下宛先までお問い合わせください。